



●1994年に完成した駅舎は現代の美術館のような特徴的な外観で、西口・東口ともに駅前にはきれいに整備されたロータリーがある。



●2面3線のホームで橋上に駅舎がある。



●天井が高く開放感のあるステーションギャラリーは駅利用者や村民にも人気がある。

日本でも最初に原子力の火が灯った村として知られる東海村。村内唯一の鉄道駅は明治31年、石神駅として開業した。大正15年には石神駅→阿漕駅間を走る村松軌道が開業したが、昭和8年に廃止された。昭和30年に村松村と石神村が合併して東海村が誕生すると、2年後の4月、駅名を東海駅と改称した。東海駅は平成6年に橋上駅舎となり、駅内にはステーションギャラリーがあり、さまざまな展覧会が楽しめる。地域の人々や駅利用者にも親しまれている。原子力の村として知られる一方、美しい自然や大神宮、村松山虚空蔵堂に代表される寺社仏閣など、観光資源に富んだ村として多くの人々が訪れる。なかでも村内の景勝地「東海十二景」は、名勝として好評を博している。3月には村発足60周年を記念して「東海十二景」を巡る周遊バスツアーも予定されている。

Vol.46

駅からのふるさと紀行 JR常磐線

東海駅

← 佐和 | 大甕 →

●次回は2月28日 ※イラストはイメージです。
「新治駅」を掲載予定です。



「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU

茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(代)
http://www.ibaraki-isuzu.co.jp



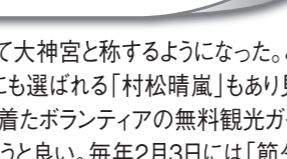
原子力科学館
●見て、触れて、じっくり学べる科学館。原子の科学や放射線について、詳しく学ぶことができる。入館無料。



阿漕ヶ浦公園
●スポーツやレクリエーションなどに活用される公園で、春には200本のみことな桜が咲く。



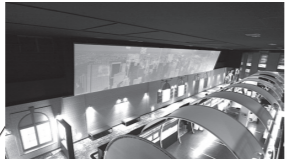
村松晴嵐の碑
●徳川斉昭公が天保四年に水戸八景を選定したその一つで、書かれている碑の文字は斉昭公によるもの。



大神宮
●和同元年の創建といわれ、水戸光圀が神殿を造営し、伊勢神宮より分霊を奉遷し大神宮となる。



玉喜屋菓子舗「村松の福俵最中」



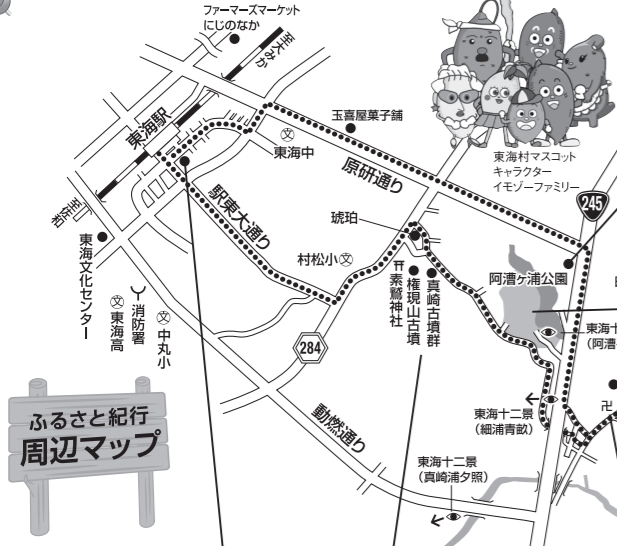
原子力科学館
●見て、触れて、じっくり学べる科学館。原子の科学や放射線について、詳しく学ぶことができる。入館無料。



村松晴嵐の碑
●徳川斉昭公が天保四年に水戸八景を選定したその一つで、書かれている碑の文字は斉昭公によるもの。



村松山虚空蔵堂
●平安初期大同二年、弘法大師によって創建され、伊勢の朝熊山金剛証寺、福島県柳津の豊敷山円蔵寺とともに日本三虚空蔵尊のひとつとして有名。



● 散策コース ●

まずは今春、駅東口前にオープンした東海村産業・情報プラザ（iVil）前の大通りを進み、県道284号線を左折。素鷲神社が鎮座する権現山古墳や8基の古墳がある真崎古墳群を経て阿漕ヶ浦公園へ。そこから大神宮、村松山虚空蔵堂へ向かう途中には、「東海十二景」の細浦青畝（夏の風景）がある。日本三体の一つに数えられる村松山虚空蔵堂は、厄払いや初詣、七五三、十三詣りなどで多くの参拝者が訪れる。「茨城のお伊勢さん」として知られる茨城一の宮・大神宮は徳川光圀が神殿を

造営、伊勢神宮から分霊を奉還して大神宮と称するようになった。このエリアは茨城百景や水戸八景にも選ばれる「村松晴嵐」もあり見どころいっぱいなので、緑色の服を着たボランティアの無料観光ガイドを見かけたら、いろいろ教えてもらおうと良い。毎年2月3日には「節分祭」でにぎわう大神宮、村松山虚空蔵堂を満喫したら、原子力科学館を訪ねたい。ここでは原子力の基礎を学ぶことができる。駅に戻る原研通り沿いには玉喜屋菓子舗があるので、縁起のいい「村松の福俵最中」で疲れをいやそう。